

初版作成日 : 2018/08/27

改訂日 : 2023/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : カンメルパスタ

製品番号 (SDS NO) : ZQ231

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 動物用医薬品

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 日本全薬工業株式会社

住所 : 〒963-0196福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1番地の1

担当部署 : 信頼性保証部

電話番号 : 024-945-3126

FAX : 024-945-2394

緊急連絡先電話 : 024-945-2300(代表)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

発がん性: 区分 2

生殖毒性: 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

臓器の障害

呼吸器への刺激のおそれ

長期間にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

粉じん/煙を吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の危険有害性

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- ミスト/蒸気を吸入しないこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	CAS No.	化審法番号	化管法 管理番号	含有量 (100g中)
dl-メントール	89-78-1	3-2333	-	3.3g
dl-カンフル	76-22-2	4-308;4-601	-	0.33g
サリチル酸メチル	119-36-8	3-1585	管理番号624	0.17g
トウガラシ抽出液	-	-	-	48.5mL
カンメルエキス (オウバク末:0.2g ダイオウ末:0.2g ニンドウ末:0.3g コジョウコン末:0.08g オトギリソウ末:0.245g)	-	-	-	10mL

その他、基剤、保存剤、安定剤を含む。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

イソプロピルアルコール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

イソプロピルアルコール

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

ポリアクリル酸

GHS分類区分に該当する危険有害成分

dl-カンフル，イソプロピルアルコール，ポリアクリル酸，1,2-ジクロロエタン，
ブチル化ヒドロキシアニソール

健康有害性シンボル該当成分

イソプロピルアルコール，ポリアクリル酸

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

多量に飲んだ場合、吐き出させ、異常がある場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

特有の危険有害性

火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。

状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

皮膚、眼及び衣服への接触を避ける。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、空容器に回収する。

二次災害の防止策

汚染箇所を水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミストを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

容器を転倒させ落させ衝撃を与える等の粗暴な扱いをしない。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

適切な保護具を着用する。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に保管する。

湿気を避けて保存すること。

小児の手の届かないところに保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(イソプロピルアルコール)

作業環境評価基準(2004) $\leq 200\text{ppm}$

(1,2-ジクロロエタン)

作業環境評価基準(1995) $\leq 10\text{ppm}$

許容濃度

(イソプロピルアルコール)

日本産衛学会(1987) (最大許容濃度) 400ppm ; $980\text{mg}/\text{m}^3$

(1,2-ジクロロエタン)

日本産衛学会(1984) 10ppm ; $40\text{mg}/\text{m}^3$

(dl-カンフル)

ACGIH(1996) TWA: 2ppm ;

STEL: 3ppm (眼及び上気道刺激、無嗅覚症)

(イソプロピルアルコール)

ACGIH(2001) TWA: 200ppm ;

STEL: 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)

(1,2-ジクロロエタン)

ACGIH(1996) TWA: 10ppm (肝臓損傷; 吐き気)

ばく露防止

設備対策

特に密閉された区域では、十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具

状況に応じて呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

状況に応じて保護手袋を着用する。

眼の保護具

状況に応じて保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

状況に応じて保護衣を着用する。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

- 物理状態：軟膏
- 色：黄色～橙黄色の半透明
- 臭いデータなし
- 臭いの閾値データなし
- 融点/凝固点データなし
- 沸点又は初留点データなし
- 沸点範囲データなし
- 可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
- 引火点データなし
- 自然発火点データなし
- 分解温度データなし
- 自己促進分解温度/SADTデータなし
- pHデータなし
- 動粘度データなし
- 動粘性率データなし
- 溶解度：
 - 水に対する溶解度データなし
 - 溶媒に対する溶解度データなし
 - 溶媒の溶解度データなし
- n-オクタノール/水分分配係数データなし
- 蒸気圧データなし
- 蒸気密度データなし
- 密度及び/又は相対密度データなし
- 相対ガス密度(空気=1)データなし
- 20°Cでの蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1)データなし
- 粒子特性データなし
- 臨界温度データなし
- 蒸発速度データなし
- VOCデータなし
- その他のデータなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

- 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

避けるべき条件

- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(サリチル酸メチル)

rat LD50=887mg/kg (CLH Report, 2017)

(イソプロピルアルコール)

rat LD50=5480mg/kg (EHC 103, 1990)

(ポリアクリル酸)

male rat LD50=2500mg/kg (GIR Expert Panel, 2019)

(1,2-ジクロロエタン)

rat LD50=670mg/kg (環境省リスク評価第2巻, 2003)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(サリチル酸メチル)

rat LD50 >2500 mg/kg (REACH登録情報, Accessed Oct. 2020)

(イソプロピルアルコール)

rabbit LD50=12870mg/kg (EHC 103, 1990)

(1,2-ジクロロエタン)

rabbit LD50=2800-4900mg/kg (EHC 176, 1995)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(1,2-ジクロロエタン)

vapor: rat LC50=1000ppm/4hr (IARC 20, 1979)

労働基準法: 疾病化学物質

1,2-ジクロロエタン

局所効果

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(dl-カンフル)

眼刺激性 (ACGIH-TLV, 2005)

(サリチル酸メチル)

in vitro test;5%濃度細胞生存率: 25.5%、26.8%、31.0%、0.05%濃度細胞生存率: 11.6%、3.

9%、19.9% (OECD TG491) (REACH登録情報情報, Accessed Oct. 2020)

(イソプロピルアルコール)

ラビット (PATTY 6th, 2012 et al)

(1,2-ジクロロエタン)

ラビット 軽度の眼刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2005)

[会社固有データ]

(dl-カンフル)

眼刺激性 (ACGIH-TLV, 2005)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(サリチル酸メチル)

cat. 1B; human/皮膚感作性 (ECHA RAC Opinion, 2019)

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[製品]

区分 2, 発がんのおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ポリアクリル酸)

cat.2; ナトリウム塩(CAS No.9003-04-7)として: MAK(DFG) Category 4 (DFG MAK, 2012)

[IARC]

(イソプロピルアルコール)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(ポリアクリル酸)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(1,2-ジクロロエタン)

Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(ブチル化ヒドロキシアニソール)

Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[ACGIH]

(dl-カンフル)

A4(1996): ヒト発がん性因子として分類できない

(イソプロピルアルコール)

A4(2001): ヒト発がん性因子として分類できない

(1,2-ジクロロエタン)

A4(1996): ヒト発がん性因子として分類できない

[日本産衛学会]

(1,2-ジクロロエタン)

第2群B:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(1,2-ジクロロエタン)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

生殖毒性

[製品]

区分 2, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(サリチル酸メチル)

cat. 1B; CLH Report, 2018

(イソプロピルアルコール)

cat. 2; PATTY 6th, 2012

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

中枢神経系、全身毒性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(サリチル酸メチル)

麻酔作用 (IPCS PIM 642, Accessed Oct. 2020; CLH Report, 2018)

(1,2-ジクロロエタン)

麻酔作用 (PATTY 6th, 2012)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

血液系 (EHC 103, 1990)

(ポリアクリル酸)

呼吸器 (厚労省報告書, 2019)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

脾臓、肝臓、呼吸器 (EHC 103, 1990)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(dl-カンフル)

魚類 (ゼブラフィッシュ) LC50=35mg/L/96hr (HSDB, 2005)

(dl-カンフル)

魚類 (ゼブラフィッシュ) LC50=35mg/L/96hr (HSDB, 2005)

(サリチル酸メチル)

藻類 (デスマデスマス属) ErC50=1.6mg/L/72hr (EU CLP CLH, 2018)

(イソプロピルアルコール)

魚類 (メダカ) LC50 >100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)

(1,2-ジクロロエタン)

甲殻類 (ブラインシュリンプ) LC50=12.8mg/L/48hr (環境省リスク評価第2巻, 2003)

(ブチル化ヒドロキシアニソール)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=2.3mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2004)

[会社固有データ]

(dl-カンフル)

魚類 (ゼブラフィッシュ) LC50 = 35mg/L/96hr (HSDB, 2005)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(サリチル酸メチル)

藻類 (デスマデスマス属) NOErC=0.79mg/L/72hr (EU CLP CLH, 2018)

(イソプロピルアルコール)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >100mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)

(1,2-ジクロロエタン)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC (r)=55mg/L/72hr (環境庁生態影響試験, 1995)

水溶解度

(dl-カンフル)

0.12 g/100 ml (25°C) (ICSC, 2003)

(サリチル酸メチル)

0.07 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2004)

(イソプロピルアルコール)

In water, infinitely soluble (25°C) (HSDB, 2013)

(1,2-ジクロロエタン)

0.87 g/100 ml (ICSC, 2013)

残留性・分解性

[成分データ]

(イソプロピルアルコール)

急速分解性あり (BODによる分解度: 86% (既存点検, 1993))

(1,2-ジクロロエタン)

急速分解性なし (BOD分解度=0%/14 days; TOC分解度=1.6%/14 days; GC分解度=1.1%/14 days (通産省公報, 1978))

(ブチル化ヒドロキシアニソール)

BODによる分解度: 0% (既存点検, 2004)

生体蓄積性

[成分データ]

(dl-カンフル)

log Kow=2.36 (PHYSPROP DB, 2009)

(サリチル酸メチル)

log Pow=2.55 (ICSC, 2004)

(イソプロピルアルコール)

log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

(1,2-ジクロロエタン)

log Pow=1.48 (ICSC, 2013)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

特別の安全対策

運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)

サリチル酸メチル; 1,2-ジクロロエタン

有害液体物質(Z類)

イソプロピルアルコール; ポリアクリル酸

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤

イソプロピルアルコール

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

イソプロピルアルコール(医薬品のため適用除外)

名称通知危険/有害物

イソプロピルアルコール(医薬品のため適用除外)

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

アクリル酸重合体(1.2%)

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

1,2-ジクロロエタン; イソプロピルアルコール; ポリアクリル酸

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

ブチル化ヒドロキシアニソール

有害大気汚染物質/優先取組

1,2-ジクロロエタン

廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物: 特定有害産業廃棄物

1,2-ジクロロエタン

法令番号13: 埋立処分判定基準 $\leq 0.04\text{mg/liter}$

土壌汚染対策法

第一種特定有害物質 揮発性有機化合物

1,2-ジクロロエタン

政令番号8:

溶出量 $\leq 0.004\text{ mg/liter}$ 第二溶出量 $\leq 0.04\text{ mg/liter}$ 地下水 $\leq 0.004\text{ mg/liter}$ 土壌環境 $\leq 0.004\text{ mg/liter}$

水質汚濁防止法

有害物質

1,2-ジクロロエタン

法令番号 13: 0.04mg/liter

指定物質

ブチル化ヒドロキシアニソール

法令番号 55

適用法規情報

医薬品医療機器等法: 動物用医薬品

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度(2021年度))です。